

15社が楽曲を提供し、100万曲のラインナップで1曲150円からアップル、ついにiTunes Music Store日本版のサービスを開始

アップルは8月4日、音楽配信サービス「iTunes Music Store (iTMS)」の日本国内サービスを開始した。基本的なサービスの仕様はすでに世界各国で提供されているものと同様で、データ形式はAAC。サービス開始当初は15社が参加し、登録楽曲数は100万曲からスタートする。

今年に入ってから、iTMS日本版開始の話が頻繁に聞かれるようになり、「春から」「夏ごろ」「年内には」といった噂が流れた。米国、欧州と順調にサービスインする中で、決して小さくはないマーケットである日本でのサービスが始まらないということは、著作権処理や業界構造など特有の難しさがあることを物語っていた。

東京国際フォーラムで行われた発表会では、アップル側から事前に内容の告知はなかったものの、タイミングからiTMSの発表であることが予想された。ステージに同社のCEOであるスティーブ・ジョブズ氏が現れるといよいよ間違いないと確信し、各席はその瞬間を見守った。

ジョブズ氏は、まずMacの販売が好調で、PCに比べて高い成長率を示していること、4月に発売したMac OS X 10.4

の先進的な機能や対応アプリケーションが順調に増えていること、新製品のマウスのことなど、最近の状況をまとめた。

続いて、iPodの累計売上台数が2,000万台を超え、2005年の第1四半期は620万台に達したと紹介した。その上でソニーのPSPに言及し、PSPの3倍売れているiPodがいかに成功しているかについて強調した。

そしてiTMSの話題に移り、ついに20か国目として日本でサービスを開始することが告げられると、会場からは拍手喝采が起こった。また用意された楽曲が100万曲であること、価格は200円と150円の2種類になることも紹介された。

ジョブズ氏は、日本版を「日本のために作られ、日本で作られた」と特別感を強調したが、裏を返せば他国と同じように一律の料金設定が困難であったともいえる。実際、参加を表明した15社には、エイベックスや東芝EMI、B-gramなどが含まれるものの、大手のユニバーサルはごく一部、ソニーは不参加という状態。サービス開始から4日目となる8月8日には、販売曲数が100万を超えてこの上なく順調

な滑り出しではあるものの、これを継続して日本で成功できるか否かは、今後の各社の動きに大きく依存している。

一方では、iTMSでの価格設定を受けて、他の音楽配信サービスが発表同日に一齐に価格を変更するという動きを誘い、早速iTMS効果を与えたといえる。

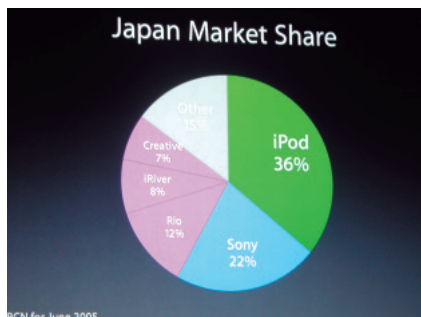
複雑化した日本の音楽ビジネスに、さらなる影響を与えられるか、消費者にとって好ましい変化へのきっかけとなることに期待したい。

<http://www.apple.com/jp/>

ビデオストリーミングで、発表会の模様が視聴できます。 [127ページへ](#)



iTMSの発表後、ゲストとしてフジ・ロックフェスティバルのため来日中のベックが登場し、2曲を弾き語った。アップルらしい演出に会場も興奮。



米国のデジタルミュージックプレイヤー市場でiPodは74%のシェアを持つ。日本では36%にとどまるが、iTMS効果でシェア拡大となるか。



iTunesの目玉であるポッドキャストのコンテンツも日本版が登場。iTMSへの注目をきっかけに、ポッドキャストの普及にも拍車がかかりそうだ。



招待客の中には、ミュージシャンの佐野元春氏をはじめ業界人の姿も。音楽配信を送り手であるアーティストがどうとらえるかも今後の焦点になる。

iTunes Music Storeの国内サービス開始で活気づく ポッドキャストサイトが続々と登場

ブログの更新情報を通知するRSSの技術を使ってラジオ番組や音楽などのファイルを配信する「ポッドキャスト」が急速に広まっている。ポータルや番組を提供するサイトが続々と登場し、その内容も多彩になりつつある。

ニフティ「Podcasting Juice」

ニフティの「Podcasting Juice」はポッドキャストのポータルサイト。お勧めの番組「スペシャルプログラム」が紹介されている。また、Podcasting Juiceが提供する「Podfeed」サービスを利用すると、自分のブログでポッドキャストを使った番組配信が簡単にできる。

ポータルとしては、ほかに「livedoor ネットラジオ」(<http://pod.ladio.livedoor.com/>)、「Seesaa ブログ」(<http://blog.seesaa.jp/contents/genre/0271/0001.html>)などもある。

東京FM「Honda SWEET MISSION」

東京FMは、世界のOLの働き方、遊び方、考え方などを「国際OL探偵社」という設定でレポートする「Honda SWEET MISSION」(<http://blog.excite.co.jp/sweetmission/>)を提供。また音楽専門のFMラジオ局InterFMは、FMのオンエアでは聴くことができないような超ディープな音楽プログラム、英会話プログラムなどを「InterFM Podcast」(<http://podcast.interfm.co.jp/>)で提供している。



ニフティの「Podcasting Juice」では人気ポッドキャスト番組のランキングも見られる。

interfm.co.jp/)で提供している。

ボイスブログサービス「ケロログ」

ケロログ(<http://www.voiceblog.jp/>)は、声によるブログを作成できるボイスブログサービスだ。ポッドキャストに対応したボイスブログを簡単に作成することができる。音声の登録は、指定された番号にかけて電話から録音する方法と、PCなどで作成した音声ファイルをアップロードする2つの方法が提供されている。



「InterFM Podcast」の「FUJI ROCK FESTIVAL '05 PODCAST SPECIAL」をチェック!

開発者、ITプロに向けたマイクロソフトのイベント「Tech Ed 2005 Yokohama」開催 次期開発ツールとデータベースサーバーのリリースは11月に明らかに

今年で11年目を迎える総合テクニカルカンファレンス「Tech Ed 2005 Yokohama」が8月2日から5日、パシフィコ横浜で開催された。2日は「ラーニングデイ」、3日から5日までテクノロジーの詳細を学ぶ「テクニカルセッション」が実施された。

基調講演「ITプロと開発者の可能性を拓く」

8月3日には、マイクロソフト代表執行役社長ダレン・ヒューストン氏の基調講演が行われ、製品戦略の解説、次期製品のデモなどが行われた。

Visual Studio 2005

開発の生産性が大幅に向上するとして、Team Systemによるテストの作成と実行が紹介された。Team Systemでは「テストの作成」機能が装備され、テストコードのスケルトンが生成されるので、

コーディングの工数が大幅に削減できる。SQL Server 2005

データマイニングにおける優位性として、データの欠損値を関連データの分析を用いて簡単に補えることがデモされた。またミラーリングのデモでは、システムの構成が簡単に行えること、メインサーバーで障害が発生したときに瞬時にトランザクションをミラーサーバーに安全に切り替え

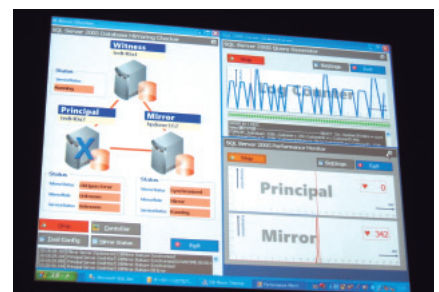
られることが示された。

2007年までのロードマップ

11月17日に「Visual Studio 2005」、「SQL Server 2005」および「BizTalk Server 2006」の製品発表会が開催されることが明らかにされた。また2007年の「Windows Longhorn Server」リリースまでのサーバー製品群のロードマップも発表された。



基調講演を行うマイクロソフト代表執行役社長ダレン・ヒューストン氏。



SQL Server 2005のミラーリング。メインのサーバーが停止するとトランザクションが瞬時にミラーサーバーに切り替わる。

RSS/Atom 技術のビジネス利用推進を目指したカンファレンスが開催

「フィードはこれまでのインターネット技術のなかでもとても大きな波になる」

ブログやポッドキャストなどで利用され、新しい情報配信(フィード)の基盤として注目される技術がRSS/Atom。そのビジネス活用と推進に取り組む団体「フィードビジネス・シンジケーション」(以下、FBS)は8月5日、「第1回フィードビジネス・カンファレンス」を開催した。

当日は、フィードビジネスを行う各社の講演やパネルディスカッションが行われ、ネットビジネス企業や関係者が参加した。

ネットエイジ代表取締役社長の西川潔氏は「これまでのインターネット技術の中でも、RSSはかなり大きな波になる」とする一方で、一般ユーザーにはまだまだ認知されていないという。

RSS 広告社代表取締役社長の田中弦氏は、現在のフィードサービスを、RSSの生成支援と加工配信を行う「配信レイヤー」、フィードの集約や広告への応用、

市場分析を行う「付加価値レイヤー」、そして各種RSSリーダーに代表される「受信レイヤー」の3層構造で表現し、それぞれに対応するビジネスとその可能性を説明。今後は、この境界が曖昧になり、多様なビジネスが出てくるだろうとした。

テクノラティージャパンの佐藤匡彦氏は、ブログなどをフィードコンテンツと呼んでHTMLとの違いを説明。メタデータ(フィード)によってより高度な情報のフィルタリング/カスタマイズができるため、パーソナライズの可能性を秘めているとした。また、あくまでも希望的観測としながらも、2009年には280万人ユーザーがフィードを利用し、2000億円規模の市場になると予想しているという。

マイクロソフトがIEの次期バージョンにRSSリーダーを搭載するとされているが、FBSとしては、フィードが一般ユーザーに

浸透する大きなきっかけになるとらえている。一方で標準化から外れた独自拡張が行われるようだと、フィードビジネスのプレイヤーにも影響が出てくると懸念する。

RSS/Atomは、技術的には単純なものだが、その扱いやすさのため、徐々に利用シーンが拡大しつつあるのも事実。FBSでは、今後もビジネス活用の可能性を模索していく。

<http://www.feedsphere.com/>



パネルディスカッションでは、来場者からの質問も交えて活発なやり取りが行われた。左から、サン・マイクロシステムズの藤井彰人氏、RSS 広告社の田中弦氏、グルコースの大向一輝氏。

来年4月からデジタルラジオ放送開始
在京5局が共同出資し新会社を設立

東京をサービスエリアとする民法ラジオ局5社が共同出資して、デジタルラジオの設備投資や放送免許取得し、チャンネル編成を行うための事業会社を設立すると7月26日発表した。

新会社は10月に発起人会を発足して会社設立の事務作業を始め、2006年4月の本免許取得と同時に放送開始を目指す。デジタルラジオの事業会社を共同設立するのは、総務省が主催した「デジタル時代のラジオ放送の将来像に関する懇談会」が7月に提出した報告書をもとに、総務省が示した方針に基づいたもの。

記者会見では、FM東京の後藤会長が「デジタルラジオは、新メディアと新ビジネスの誕生」と述べ、文化放送の清水社長は「デジタル化は第2の創業というべき出来事。ラジオが本来持っている基幹メディアの地位を取り戻したい」と熱く語った。

楽曲を無料で公開してプロモーション
元ソニーの丸山氏が音楽サイト「mF247」を開始

元ソニー・ミュージックエンタテインメント社長で現在247MUSIC代表取締役の丸山茂雄氏が、新しい音楽専門のプロモーションサイトを始める。8月18日、「mF247」(music forecast 247)の発表会が東京・恵比寿ガーデンホールで開催された。

mF247では、アーティストに楽曲を提供してもらい、それを無料かつ著作権保護技術を使わずにサイト上で配信する。楽曲を提供するアーティストはプロ/アマを問わないが、最低限のクオリティを維持す

るため審査を受けることと、配信に関する権利関係をクリアしている点が条件。登録された楽曲は、サイト上で「ネットジョッキー」と呼ばれる著名人によって紹介される。

発表会で、丸山氏は「今の業界には新しい音楽を紹介する場がない」「リスナーに音楽を届ける新しい仕組みが必要だ」「今ならインターネットを使えば簡単だ」とmF247の発想の原点を語った。

<http://mf247.jp/>



司会進行をつとめた渡辺満里奈さん。



247MUSIC 代表取締役の丸山茂雄氏。

PSP にウェブブラウザ機能を搭載 動画配信サービスもスタート

ソニー・コンピュータエンタテインメントは7月27日、携帯ゲーム機PSP用ウェブブラウザの提供を開始した。

これは、ファームウェアに新たに含まれる機能で、以前に発売された製品でもファームウェアを2.0以降にアップデートすることで機能が追加される。ブラウザはHTML4.01に対応しており、搭載される無線LANを使ってインターネットを閲覧することができる(114ページ参照)。

ウェブブラウザの提供と同時に、インターネット経由でPSPに直接動画を配信するサービス「Portable TV」も開始された。ただし、現在はストリーミングではなく、PCでメモリースティックに動画を保存してPSPで視聴するというもの。従来のMPEG4に加え、新ファームウェアではH.264/AVCの再生にも対応する。

<http://www.p-tv.jp/>

RIAJが2005年上半期の「有料音楽配信売上実績」を公表、総額は141億円

日本レコード協会(RIAJ)は8月10日、日本の音楽配信市場の公式統計として「有料音楽配信売上実績」を公表した。

これは、日本国内におけるインターネットや携帯電話などによる有料音楽配信市場の拡大と、国際レコード産業連盟(IFPI)による世界レベルでの音楽配信統計の開始を踏まえてのもの。

2005年1月から6月の実績は、総額で141億6,434万4,000円。内訳は、「インターネットダウンロード」が5億3,879万3,000円(3.8%)、携帯電話を含む「モバイル」が135億9,146万5,000円(96.0%)、「定額契約収入」が1,823万4,000円(0.1%)、「その他」が1,585万1,000円(0.1%)となっており、モバイルが売り上げのほとんどを占めていることが見てとれる。

RIAJでは、今後も四半期毎の公表を予定しているとのことだ。

楽天市場店舗「AMC」の取引情報が流出、36,239件でカード情報を含む

楽天は7月23日に判明した楽天市場に出店している店舗「AMC」の顧客情報が流出した件について、その後の調査の結果、流出した顧客情報は36,239件、その内クレジットカード番号が含まれているものが10,026件あると、8月6日発表した。

また、今回流出したAMCの取引情報の中には、楽天市場以外のサイトで購入したと思われる取引情報が、少なくとも8,545件含まれるとしており、楽天市場以外から流出した可能性も示唆している。

なお、8月9日にはオークション&ショッピングサイト「ビッダーズ」からも、同サイトに出店している「AMC」の取引情報8,456件が流出したと、同サイトを運営するディー・エヌ・エーが発表している。流出したのは、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、商品タイトルで、クレジットカード番号は含まれていない。

総務省、IPマルチキャストによる地上波デジタル再送信の方針を発表

総務省は7月29日、情報通信審議会からの答申を受けて「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割」と題する第2次中間答申の内容を公表した。

この答申では、デジタル全面移行に向けた重点施策として、公共分野における利活用の推進や「通信・放送融合」の積極活用等による円滑なデジタル全面移行の実現などについて提言が行われている。

また、2011年までにデジタル全面移行を確実に実現するための施策として、IPマルチキャストによる地上波デジタル再送信を挙げ、2006年から都市難視聴解消上の効果の検証等を含めSD品質において開始し、2008年にはHD品質で全国展開すると目標を提示。また、2007年内には衛星による地上波デジタル再送信の開始も目指すとしている。

東京のADSL料金は世界的にみて最も低価格と総務省が発表

総務省は、毎年度、電気通信サービスにかかわる内外価格差について調査を行っているが、8月9日、平成16年度調査の結果を公表した。

調査の対象は、東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、デュッセルドルフ、ジュネーブの6都市。

発表によると、1Mbps以上のADSLのサービスを各国比較すると、東京は世界的にみて最も安い水準。また通信速度においても、他の都市が1.5Mbps～8Mbpsであるのに対し東京は最大50Mbps。通信速度ベースで比較すると、東京はさらに割安とのことだ。

またCATVインターネットは、パリに次いで安い水準だが、他の都市が2Mbps～10Mbpsであるのに対し、東京は30Mbps。通信速度ベースで比較すると、東京は最も割安としている。

村井純氏、第63回ITEFにおいて「Postal Service Award」を受賞

Postal Service Awardは、Internet Society(ISO)が1998年に急逝したJonathan B. Postel氏にちなんで設置した賞。世界中のインターネットへの貢献者の中から毎年1人ずつ選定して授与してきたもの。

今回の村井純氏の受賞は、IPv6などの技術開発とその普及、およびアジア太平洋地域でのインターネットの発展に注がれた活動が認められてのもので、世界では7人目、アジア地区では初めての受賞となった。



Postal Service Awardを受賞した慶應義塾大学教授 村井純氏。

KDDIが吸収合併との報道に、パワードコムがコメント

パワードコムは7月29日付け日本経済新聞の「KDDIは東京電力の通信子会社であるパワードコムを2006年1月をメドに合併することで東京電力と大筋合意」との報道について、同日コメントを発表した。

日本経済新聞の記事では「KDDIは東京電力などが保有するパワードコム株をすべて取得し、株式交換により東京電力にKDDI株を割り当てる方向で、事実上の吸収合併になる。9月上旬の最終合意を目指し、早ければ来週にも資産査定に着手、合併比率などの条件を詰める」としている。

これに対し、パワードコムは「東京電力とKDDIが情報通信事業について様々な意見交換を行っていることは聞いていますが、現時点で、当社はKDDIと直接協議は行っており、合併等具体的に決定していることはありません」とコメントした。

<http://www.poweredcom.net/>

楽天、第2四半期決算を発表。売上高、経常利益ともに好調

楽天は8月17日、2005年度第2四半期の決算を発表した。売上高は203億1,000万円(前年同期比87.5%増)、経常利益は68億4,000万円(同79.7%増)と売上高、経常利益ともに好調だった。

カンパニー別では、EC事業カンパニーが売上高78億円(前年同期比58.7%増)、経常利益25億1,000万円(同57.9%増)、ポータル・メディア事業カンパニーが売上高21億5,000万円(前年同期比63.6%増)、経常利益5億6,000万円(同206.7%増)、トラベル事業カンパニーが売上高16億円(前年同期比25.7%増)、経常利益7億1,000万円(同43.5%増)、金融事業カンパニーが売上高60億3,000万円(前年同期比71.1%増)、経常利益18億6,000万円(同20.7%増)、プロスポーツ事業カンパニーは売上高が33億5,000万円、経常利益9億7,000万円と、黒字へ転換した。

はてな、各政党を仮想的な株式として取引する「総選挙はてな」を開始

はてなは8月11日、同社のサービス「はてなアイデア」の予測市場のシステムを利用した「総選挙はてな」を開始したと発表した。

総選挙はてなでは、ユーザーが各政党を仮想的な株式として取引し、株式購入数や取引価格に応じた時価総額によって選挙後の議席数を予測する。

投票前日の9月10日までは、株式の取引を通じて売買益を得ることが可能。

その後、選挙結果の獲得議席数に応じて、総選挙はてなで各政党の株式を購入したユーザーに総額10万アイデアポイントをはてなから配当するというルールだ。

総選挙はてなのページでは、議席数の予測グラフのほか、コメント欄や各政党のキーワード言及数グラフ、トラックバック、関連ブックマークなどを掲載する。

<http://senkyo.i.hatena.ne.jp/>

日本語全文検索統合環境「Kabayaki」エンタープライズ版リリース

タイムインターメディアは、日本語全文検索統合環境「Kabayaki」エンタープライズ版の販売を8月1日に開始した。

同ソフトは、従来提供してきた「Kabayaki」ベーシック版の上位モデルとなり、以下のような機能が追加されている。

- ・シソーラス検索機能
- ・ログ集計機能
- ・データベース検索機能
- ・形態素解析キーワード設定機能
- ・パフォーマンス向上

ライセンス費用は、1CPUあたり231万円、また保守費用は、年間420万円(いずれも税込み)。

なお、8月1日より10月20日までは、同ソフトを購入したユーザーにライセンス費用を3割引で提供するキャンペーンが実施されている。

<http://www.kabayaki.jp/>

総務省、携帯電話事業への新規参入事業者の申請を8月22日から受付

総務省は「特定基地局の開設計画」の申請を8月22日～9月30日まで受け付ける。期間中に携帯電話事業への新規参入を求める事業者からの申請があれば、同省での審査や電波監理審議会への諮問を経て、11月にも決定する見込みだ。

同省では、新たに携帯電話用として使用することが可能になる1.7GHz帯および2GHz帯の周波数の利用のあり方について、かねてより「携帯電話用周波数の利用拡大に関する検討会」における意見交換を踏まえて検討を重ねてきたが、6月3日に「特定基地局の開設計画に関する指針案」を発表して割り当て方針案を提示。そして今回の申請受付となった。

新規事業者としては、1.7GHz帯ではソフトバンクとイー・アクセス、2GHz帯ではアイピーモバイル、ウィルコム、ライブドアの3社が参入を表明している。

ECジャパンが商業ウェブサイトの販売支援分析システムを発売

ネットコンサルティングのECジャパンは、Eコマースなど商業ウェブサイトを運営する企業向けに、サイトを訪れた顧客の行動履歴と売上データから、商品の購買率などマーケティングの投資対効果(ROI)を統合管理できる「コンバージョンマネジャー」を8月10日に発売した。

同ソフトは、これまで企業が個別に管理していたバナー広告やキーワード広告、アフィリエイト、メールマガジン、SEO(検索エンジン最適化)などネットマーケティングの効果測定を一元管理できる。

またこれらの施策によって、サイトを訪問した顧客のアクセス履歴を商品の売上データと連動させることで、商品別、検索キーワード別、メディア別など、さまざまな角度から投資対効果を分析することが可能になっている。

<http://www.ecjapan.jp/>

クレジットカード決済代行システム
「24カード決済JP」がサービスを開始

エクストラコマースは、各種オプション項目を設定できる高機能クレジットカード決済代行サービス「24カード決済JP」を開始した。

同サービスは、従来のリンク形式による拡張性の低さを、機能オプションを導入することで高機能化しているのが特長だ。

また、決済画面を自由にカスタマイズ可能、携帯画面での表示に対応、CSV形式による一括決済や継続決済への対応、3Dセキュアに対応などの特長も備えている。

スペシャルコースとアドバンスコースが用意され、どちらも初期費用1万2,600円、月額費用6,300円(いずれも税込み)。また決済手数料は、スペシャルコースが売上の3.8%(指定のサービスマークを設置するのが条件、JCB、AMEXは別)、アドバンスコースが売上の4.5%となっている。

<http://www.24card.jp>

RSSリーダー機能を備えたポータル
「WanaView」がベータサービスを開始

ワナビューは8月8日、RSSリーダー機能を備えたポータルサービス「WanaView」のベータ版提供を開始した。

WanaViewでは、すべての機能をウェブサーバー側で実現しているため、ユーザーはブラウザでサイトにログインするだけで利用できる。また、WanaViewではユーザーによるカスタマイズが可能。「ユニット」と呼ばれるすでに登録されているサイトを選択するだけでRSSの表示が可能になる。またユニットに登録されていないサイトの場合は「RSSマルチリーダー」にURLを入力することでRSSの表示が可能になる。

ユーザーページに表示できるユニットは最大10個。これを「ユニットセット」として登録でき、3つのユニットセットをタブで切り替えて表示することができる。

<http://www.wanaview.com/>

ウェブマーケティング分析ソリューション
「Visionalist 5.0」提供開始

デジタルフォレストは7月28日、同社が開発したウェブマーケティング分析ASPサービス「Visionalistバージョン5.0」の提供を開始した。

Visionalist 5.0の主な特徴は、RFPv分析機能を搭載

最近訪れたユーザー、頻繁に訪れるユーザー、多くのページを閲覧してくれるユーザーの指標で来訪者をセグメント分けして分析できる。

広告分析機能の強化

履歴広告効果分析機能、リピーター化分析機能、クリック・アット・グランズ、リンク分析機能などを搭載。

ユーザビリティの向上

よく使用する機能をグラフ表示するコックピット機能、特定のセッションを抽出するセッション検索機能などを搭載。

<http://www.visionalist.com/>

Event Calendar

これから開催される国内外の主要なIT関連イベントをご紹介します。イベント情報掲載希望の方は、次のメールアドレスまでご連絡ください。
im-release@impress.co.jp

期日	名称	場所	URL
3/25-9/25	愛知万博(2005年日本国際博覧会)	愛知県	http://www.expo2005.or.jp/jp/
8/31-9/1	Content Management Forum 2005	大手町サンケイプラザ	http://www.idg.co.jp/expo/cmf/
9/13-9/16	Microsoft PDC 2005	ロサンゼルス(米国)	http://msdn.microsoft.com/events/pdc/
9/14-9/16	第7回自動認識総合展	東京ビッグサイト	http://www.autoid-expo.com/
9/16-9/18	東京ゲームショー2005	幕張メッセ	http://tgs.cesa.or.jp/
9/22	Windows Server World Conference 2005	青山ダイヤモンドホール	http://www.windows-world.jp/wswc/
9/27-9/29	イノベーション・ジャパン2005	東京国際フォーラム	http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/
10/3-10/5	2005 FTTH EXPO	ラスベガス(米国)	http://www.ftthconference.com/
10/4-10/8	CEATEC JAPAN 2005	幕張メッセ	http://www.ceatec.com/
10/17-10/18	Black Hat Briefings Japan 2005	京王プラザホテル	http://www.blackhat.com/
10/22-11/6	第39回東京モーターショー2005	幕張メッセ	http://www.tokyo-motorshow.com/
10/26-10/27	WPC EXPO 2005	東京ビッグサイト	http://expo.nikkeibp.co.jp/wpc/
10/26-10/28	Security Solution 2005	東京ビッグサイト	http://expo.nikkeibp.co.jp/secu-ex/
10/27-10/28	インターネットコンファレンス2005	東京大学 山上会館	http://www.internetconference.org/
11/9-11/10	eドキュメントJAPAN 2005	東京流通センター	http://www.e-document.jp/
11/15-11/16	HOSTING-PRO 2005/Fall	TIME24(東京青梅)	http://hosting-pro.jp/
11/29-11/30	mobidec2005	秋葉原コンベンションホール	http://www.mcf.to/temp/mobidec2005.pdf
11/30-12/2	2005産学官技術交流フェア	東京ビッグサイト	http://www.nikkan.co.jp/eve/
11/30-12/3	2005国際ロボット展	東京ビッグサイト	http://www.nikkan.co.jp/

上記の情報は変更になる場合があります。応募・参加の際には必ず主催者にお確かめください。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp